

日本オーディオ協会 前会長 「鹿井信雄さんを偲ぶ会」が行われました

JAS ジャーナル編集委員長
君塚 雅憲

日本オーディオ協会の前会長、鹿井信雄さんが8月3日に逝去されました。鹿井前会長はソニー株式会社の草創期から、世界初のトランジスタラジオに代表されるような、画期的な商品開発において技術者として活躍され、後には副社長としてソニーの経営を担われました。また、マーケティングに関する豊富な知識と深い見識を事業拡大に結びつけるとともに、理論面・実践面から、後進の指導、育成にも力を尽くされました。さらに日米半導体摩擦が大きな問題になった折には、日本側の代表として解決に奔走されるなど、まことに幅広く重要な業績を残されました。

2002年には日本オーディオ協会の会長に就任され、6年間、当協会の運営にご尽力いただきました。21世紀に入って、オーディオとビジュアルの融合がより高度な次元に進化し、また、デジタルオーディオの技術革新が新たな製品とユーザーを生み出しつあった難しい時期に、オーディオ協会の確かな方向を定めるべく、厳しくも温厚な人柄をもって協会を導いて下さいました。

多岐に亘る活躍をされた鹿井さんとの思い出を語り合いたいとの思いから、ソニー関係者を初め多方面の方々が発起人となり、11月15日に「鹿井信雄さんを偲ぶ会」が都内で催されました。当日は親交のあった500名近い方々が列席され、思い出話に花が咲く温かで盛大な会になりました。

日本オーディオ協会からは校條会長、協会関係者、オーディオ界の発展においてご親交のあった方々等が集い、鹿井前会長の足跡や思い出話を語り合った次第です。

簡単ではございますが、偲ぶ会の報告をさせていただくと同時に、改めて鹿井前会長のご冥福をお祈り申し上げます。



「鹿井信雄さんを偲ぶ会」 (グランドプリンスホテル新高輪にて)